

令和元年度社会福祉法人久慈市社会福祉事業団事業報告

I 運営の概要

久慈市社会福祉事業団は、平成 15 年 3 月に久慈市により設立され、特別養護老人ホームぎんたらず久慈、養護老人ホーム養寿荘のほか、大川目地区、元気の泉、山根地区、宇部地区のデイサービスセンターについて、久慈市から指定管理者の指定を受けて利用者の利便性とサービスの質の向上に努めてきたところである。

また、平成 28 年度に久慈市から事業譲渡を受け、新たに「居宅介護支援事業」、「訪問介護事業」、「訪問入浴介護事業」、「居宅介護・重度訪問介護・行動援護事業（障害者）」の 4 事業を直営事業として開始したところである。

一方では、平成 27 年度の介護保険法の改正に伴う介護報酬単価の見直しにより、基本報酬単価が大幅に減額改定されるなど、介護保険サービス事業所は厳しい財政状況にある。また、介護業界は全国的に人材が不足しており、職員が疲弊し離職者が増加する傾向にある。

なお、平成 30 年度から指定管理事業所の大川目地区及び宇部地区デイサービスセンターについては、通常規模型通所介護から「地域密着型通所介護」ⁱⁱへ区分を移行し、直営事業所の元気の泉訪問介護事業所については、職員の効率的配置の視点から事業を休止し、事業全体の効率性を見直しを図ったところである。

このような中、一層効率的な運営に努めるとともに、基本理念の「利用者の尊厳及び人権を尊重し、その人らしい人生を大切にする」、「利用者の願いや要求に真摯に向き合い、理解し、共感する」、「利用者本位の自立・自己実現・自己決定の過程を支援する」ことに則り、『あんしんきょうせい安信共誠』を標語に掲げ、一層利用者の利便性とサービスの質の向上に努めた。

- ・利用者が「安」心できる施設を目指します。
- ・家族に「信」頼される施設を目指します。
- ・地域と「共」に歩み、共存する施設を目指します。
- ・職員は「誠」実なサービスを目指します。

(法人は職員に誠実な対応を目指します)

II 重点目標

- (1) 介護分野における人材確保が厳しい状況に鑑み、職員の定着を図るため、処遇改善に努めた。
- (2) 多様な利用者のニーズに応える質の高いサービス提供をするため、職員の研修制度を拡充した。
- (3) 介護報酬等について、各種加算を受けられるよう体制を整備した。
- (4) 社会福祉法人制度改革に伴い、法人の持つ公益性に鑑み、経営組織のガバナンスの強化及び事業運営の透明性の充実を図った。

Ⅲ 事業運営

1 事業団事務局

事業団の理事会、評議員会の開催及び出納調査を実施し、適正な法人運営に努めた。

各施設に苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図るため情報交換会を開催したほか、各種事業を下記のとおり実施した。

(1)理事会（定数：理事6名、監事2名）

理 事	遠藤譲一、澤里充男、皆川隆夫、久慈匡弘、小向秀美、谷地忠人
監 事	石渡高雄、佐々木信蔵

理事のうち3名は、久慈市長、久慈市副市長及び久慈市生活福祉部長の職にある者を選任。

<理事会の職務>

- ①法人の業務執行の決定
- ②理事の職務の執行の監督
- ③理事長、副理事長及び常務理事の選定及び解職

会 議 名	期 日	主 な 内 容
第1回理事会	平成31年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則等の一部改正について（報告） ・理事候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員の補充選任について ・第1回臨時評議員会の開催について
第2回理事会	令和元年5月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・副理事長の選定について
第3回理事会	令和元年6月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告について（報告）〔平成30年10月～平成31年3月までの期間〕 ・平成30年度事業報告について ・平成30年度決算について ・令和元年度資金収支補正予算(第1号)について ・理事候補者の推薦について ・理事候補者の推薦について ・理事候補者の推薦について ・理事候補者の推薦について ・理事候補者の推薦について ・理事候補者の推薦について ・理事候補者の推薦について ・監事候補者の推薦について ・監事候補者の推薦について ・第2回定時評議員会の開催について
第4回理事会	令和元年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選定について ・副理事長の選定について

		・ 常務理事の選定について
第 5 回理事会	令和元年 11 月 19 日	・ 理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告について (報告) [平成 31 年 4 月～令和元年 9 月までの期間] ・ 給与規程等の一部改正について (報告) ・ 令和元年度資金収支補正予算(第 2 号)について ・ 定款の一部改正について ・ 第 3 回臨時評議員会の開催について
第 6 回理事会	令和 2 年 3 月 27 日	・ 組織規程等の一部改正について (報告) ・ 令和元年度資金収支補正予算(第 3 号)について ・ 令和 2 年度事業計画について ・ 令和 2 年度資金収支予算について ・ 事務局長の選任及び解任について ・ 施設長の選任及び解任について ・ 施設長の選任及び解任について ・ 施設長の選任及び解任について ・ 施設長の選任及び解任について ・ 施設長の選任及び解任について ・ 理事候補者の推薦について ・ 令和 2 年度第 1 回臨時評議員会の開催について

(2) 評議員選任・解任委員会 (構成: 監事 1 名、職員 1 名、外部委員 2 名の合計 4 名)

監 事	佐々木信蔵
職 員	泉澤民義
外部委員	吉田利昭、古山誠

<評議員選任・解任委員会の職務>

① 評議員の選任及び解任

開催なし

(3) 評議員会 (定数: 7 名)

評 議 員	村田東助、高屋敷真喜子、伊藤武男、小倉明、下道喜佐雄、木戸口敏男 根井元
-------	---

<評議員会の決議事項>

① 理事及び監事の選任又は解任

② 理事及び監事の報酬等の額

③ 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準

④ 計算書類 (貸借対照表及び収支計算書) 及び財産目録の承認

- ⑤定款の変更
- ⑥残余財産の処分
- ⑦基本財産の処分
- ⑧社会福祉充実計画の承認
- ⑨その他評議員会で決議するものとして法令又は定款で定められた事項

会議名	期 日	主 な 内 容
第1回臨時評議員会	令和元年5月17日	・理事の補充選任について
第2回定時評議員会	令和元年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告について ・平成30年度決算について ・理事の選任について ・理事の選任について ・理事の選任について ・理事の選任について ・理事の選任について ・理事の選任について ・監事の選任について ・監事の選任について
第3回臨時評議員会	令和元年12月4日	・定款の一部改正について

(4) 出納調査（監事：2名）

監 事	石渡高雄、佐々木信蔵
-----	------------

会議名	期 日	内 容
監 査 第1回出納調査	令和元年5月20日	・平成30年度事業報告及び会計監査並びに1月～3月までの会計執行状況
第2回出納調査	令和元年8月26日	・4月～6月までの会計執行状況
第3回出納調査	令和元年11月25日	・7月～9月までの会計執行状況
第4回出納調査	令和2年2月20日	・10月～12月までの会計執行状況

(5) 福祉サービスに係る苦情解決事業

第三者委員	佐々木信蔵、高屋敷真喜子、伊藤武男
苦情解決責任者	各施設の施設長
苦情受付担当者	各施設の生活相談員

会議名	内 容 等							
	施設名	苦情	目安箱	郵送	要望等	計	再掲	
							解決	継続中
情報交換会 (令和2年3月18日)	ぎんたらす久慈	1			1 (1)	2 (1)	2 (1)	
	養 寿 荘 (特定施設・訪問介護)							
	太川目地区デイサービスセンター							
	元 気 の 泉 (居宅・入浴・ヘルパー)							
	山根地区デイサービスセンター							
	宇部地区デイサービスセンター					2	2	2
	計	1				3 (1)	4 (1)	4 (1)

※ () は情報交換会開催後に要望等があったもの

(6) 各種事業

事業名	期 日	内 容
地域公開講演会	令和2年1月29日	・講演「あなたもゲートキーパーになろう」 講師 岩手医科大学部災害・地域精神医学講座 特命助教 赤平 美津子 氏 参加者：58名（うち外部8名）

2 特別養護老人ホームぎんたらす久慈

(1) 家族との交流について

家族会を組織し、家族と施設の信頼関係のある運営に努めた。

- ・家族会総会 令和元年5月26日に開催（出席者4人）
会員の高齢化が進展し、会の活動を維持することが困難なことから、令和元年9月末日をもって解散となるのが総会において承認される。

・主な交流行事

夏まつり	7月31日開催	家族19人参加
敬老会	9月18日開催	家族24人参加

・面会状況

延面会者数 (長期・短期)	2,248人	月平均 (長期・短期)	187.3人
------------------	--------	----------------	--------

(2) 生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感を取り入れるため下記の行事を開催した。

- ・誕生日会 ・お花見ドライブ ・こいのぼりフェスティバル参加 ・夏まつり
- ・敬老会 ・クリスマス忘年会 ・もちつき ・お楽しみクラブ
- ・世代間交流（園児との）

②健康面の管理については、嘱託医による定期診療及び協力病院と連携を図りながら健康の保持、感染症の予防と早期対応に努めた。（健康診断年1回）

(3) ボランティアの受け入れについて

小学生、中学生、高校生のボランティアの受け入れを随時行い、高齢者とのふれあいに努めるとともに、福祉の心の醸成に努めた。また、一般のボランティアも積極的に受け入れ、利用者との交流を図った。

ボランティア (一般・学生等)	6件	・傾聴ボランティア 夏祭りボランティア
訪問(一般・学生等)	4件	・世代間交流・夏祭り・敬老会
実習(一般・学生等)	9件	・現場実習、職場体験学習他

(4) 利用者、家族の意見等の反映について

苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。日常生活においては、担当介護員が中心となり、積極的にコミュニケーションを図り利用者の声を介護に反映させるよう努めた。また、家族には広報の発行や面会時の状況報告を通して信頼関係の確立を図った。

(5) 食事について

生活の中で楽しみとなる食事については、利用者の身体の状況及び嗜好を考慮するとともに、適時適温とし、季節感のある食事の提供に努めた。

- ①行事食 19回 ②麺の日 毎月第3火曜日 ③パンの日 毎月第2・4木曜日
- ④お好み昼食（選択食） 奇数月第4金曜日 ⑤喫茶の日 毎週金曜日
- ⑥嗜好調査 2回 ⑦残菜調査 2回

(6) 委員会活動について

内部組織として次の委員会を設置し生活レベルの維持・向上に努めた。

- ①行事委員会 行事、レク活動等の準備・計画等を行った。
- ②広報委員会 広報の発行、壁紙新聞の作成等を行った。
- ③保健委員会 保健衛生・健康管理に関する活動を行った。
- ④排泄委員会 排泄ケアに関する活動を行った。
- ⑤環境委員会 居室環境の改善・整備、物品の管理等を行った。
- ⑥リスクマネジメント委員会 安全確保、身体拘束廃止の推進等の活動を行った。
- ⑦褥瘡対策委員会 褥瘡発生防止、褥瘡ケアに関する活動を行った。
- ⑧感染対策委員会 感染症の防止、発生時の対策に関する活動を行った。
- ⑨事故防止検討委員会 事故防止、発生時の対応に関する活動を行った。
- ⑩喀痰吸引等に係る安全委員会 喀痰吸引等の安全対策に関する活動を行った。
- ⑪身体的拘束適正化委員会 身体的拘束の適正化策に関する活動を行った。

(7) 職員の資質向上について

内部研修を開催するとともに、外部研修への積極的な参加に努め、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会・会議等参加状況 74回
- ②内部研修会開催状況 15回

(8) 利用者の状況について

①月別入退所状況

令和2年3月31日現在 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分													
月初入所人員数	48	48	48	50	46	47	48	49	49	50	49	48	580
入所	2	1	3	1	3	3	2	4	1	1	2	2	25
退所	2	1	1	5	2	2	1	4		2	3	1	24
うち末日退所					1					1			
月末入所人員	48	48	50	46	48	48	49	49	50	50	48	49	583

月初入所人員数には初日入所者を含む。月末入所人員には末日退所者を含む。

②前住地別入所者状況

(単位：人)

区分	現 員			令和元年度異動状況					
				入 所			退 所		
市町村	男	女	計	男	女	計	男	女	計
久慈市	9	37	46	4	20	24	8	15	23
九戸郡野田村		2	2						
下閉伊郡田野畑村		1	1		1	1			
岩手郡葛巻町							1		1
計	9	40	49	4	21	25	9	15	24

③年齢別利用者状況

(単位:人)

区分	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男		1	1	2	4	1				9
女		2	2	3	3	10	15	5		40
計		3	3	5	7	11	15	5		49

④介護度別利用状況

(単位:人)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男			2	4	3	9
女	1	1	5	17	16	40
計	1	1	7	21	19	49

⑤年間利用状況

(単位:人)

	元年度	30年度	対前年度(人)	対前年度(比)
1日当たり利用人員	48.3	49.2	△0.9	98.2
利用延べ人員	17,692	17,954	△262	98.5

(9)短期入所生活介護事業について

指定居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者及び家族のニーズに基づくサービスの提供に努めた。

①短期入所者利用状況

令和2年3月31日現在 (単位:人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	25	24	22	23	25	25	25	25	23	21	22	23	283
延べ利用者数	310	294	282	309	311	311	323	311	311	304	275	313	3,654
1日平均利用者数	10.3	9.5	9.4	10.0	10.0	10.4	10.4	10.4	10.0	9.8	9.5	10.1	10.0

定員10名であるが、長期入所者が入院した場合は、空きベッドを利用して短期利用者を受入れている。

②年間利用状況

(単位:人)

	元年度	30年度	増減	対前年度(比)
1日当たり利用人員	10.0	10.5	△0.5	95.2
利用延べ人員	3,654	3,846	△192	95.0

3 養護老人ホーム養寿荘

入所者の社会復帰の促進及び自立の為に必要な指導及び訓練などで援助を行うとともに、その有する能力に合わせた自立を目指すものとして日常生活の支援を行った。

処遇計画を作成し、その計画に基づき施設生活における自立支援を目指し、家事・生活援助と介護サービスを行った。

(1) 生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感等を取り入れるため下記の行事を開催した。

- ・誕生会(毎月開催) ・どんぐり喫茶 ・お茶会 ・花見会 ・遠足 ・園児交流会
- ・ドライブ ・敬老会 ・大川目町郷土祭(作品出展) ・クリスマス会 ・餅つき
- ・みずき団子づくり ・豆まき ・ひなまつり

②健康面の管理について

嘱託医及び協力病院と連携を図りながら早期対応に努めた。

健康診断を5月・11月の2回実施した。

(2) 入所者、家族の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約に努めた。

電話連絡や面会時の報告を多くすることで家族とのコミュニケーションに努めた。

(3) 地域交流(ボランティア・慰問・地域行事参加)について

ボランティアの受け入れを随時行い、高齢者とのふれあいに努めるとともに福祉の心の醸成に努めた。また、一般のボランティアも積極的に受け入れ利用者との交流を図った。

ボランティア	一般	31名	・踊り・庭園等整備・お茶会・どんぐり喫茶
	学生他	56名	
施設行事	一般・学生	43名	・交流会・敬老会等
地域行事参加		8件	・運動会・文化祭・祭り・出前教育

(4) 食事について

食事を楽しんでいただけるよう入所者の身体の状況及び栄養の状態を把握し、嗜好に配慮した季節感のある食事の提供に努めた。

- ①行事食 27回 ②選択食 17回 ③嗜好調査 2回 ④残菜調査 2回
- ⑤手作りおやつ(調理) 6回

(5) 委員会活動について

内部組織として、次の委員会を設置し生活の向上に努めた。

- ①行事・レク委員会 行事・レク活動等の準備・計画等を行った。
- ②リスク委員会 事故防止の検討、身体拘束廃止推進等を行った。
- ③環境委員会 生活環境の改善・整備、物品の管理等を行った。
- ④感染症委員会 感染症予防対策等を行った。
- ⑤排泄委員会 排泄介助の見直しを行った。

(6) 職員の資質向上について

外部研修への積極的な参加促進に努め、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 18回
- ②内部研修会参加状況 2回
- ③(内部)復命研修 3回

(7) 入所者の状況について

①月別入退所状況

令和2年3月31日現在(単位:人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初入所人員数	49	50	50	50	50	50	50	48	49	49	50	50	595
月中入所	1				2			2	1	1	1		8
月中退所					2		2	1	1		1		7
月末入所人員	50	50	50	50	50	50	48	49	49	50	50	50	596

②前住地別入所者状況

(単位:人)

区分	現 員			令 和 元 年 度 異 動 状 況					
				入 所			退 所		
市町村	男	女	計	男	女	計	男	女	計
久慈市	10	30	40	2	6	8	3	4	7
洋野町	2	3	5						
野田村		4	4						
普代村		1	1						
計	12	38	50	2	6	8	3	4	7

③年齢別利用者状況

(単位:人)

区分	~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳~	計
男		2	1	4	3	2				12
女		2	5	3	8	9	10		1	38
計		4	6	7	11	11	10		1	50

④月別面会状況

(単位:人)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
面会者数	30	32	33	24	83	65	28	27	45	11	14	1	393	32.75

⑤年間利用状況

(単位:人)

	元年度	30年度	増減	対前年度(比)
1日当たり利用人員	49.6	49.9	△0.3	99.4
利用延べ人員	18,148	18,208	△60	99.7

4 養寿荘特定施設入居者生活介護事業所

介護保険法及び老人福祉法の改正に伴い、平成18年10月より特定施設入居者生活介護事業所の指定を受け、養護老人ホームの入所者は介護保険による居宅介護サービスを利用することとなり、サービス事業者との契約により施設サービスの一部について外部居宅介護サービス事業者から介護保険サービスの提供を受けている。利用している居宅サービスは訪問介護及び通所介護となっている。

①サービス別利用状況

令和2年3月31日現在（単位：人）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	訪問介護	40	38	38	38	38	39	39	38	37	37	39	39	460
	通所介護	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
要支援者	訪問介護													0
	通所介護													0
計	訪問介護	40	38	38	38	38	39	39	38	37	37	39	39	460
	通所介護	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84

②サービス別利用状況延べ人数

（単位：人）

区 分			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	訪問介護	身体介護	4,553	4,850	4,974	4,882	4,824	4,779	4,785	4,592	4,773	4,897	4,616	4,910	57,435
		生活援助	111	118	114	117	93	88	92	91	105	110	107	117	1,263
	通所介護	46	45	44	50	48	42	26	37	40	39	44	47	508	
要支援者	訪問介護	身体介護													
		生活援助													
	通所介護														
計	訪問介護	身体介護	4,553	4,850	4,974	4,882	4,824	4,779	4,785	4,592	4,773	4,897	4,616	4,910	57,435
		生活援助	111	118	114	117	93	88	92	91	105	110	107	117	1,263
	通所介護	46	45	44	50	48	42	26	37	40	39	44	47	508	

③介護度別利用状況

（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男			5	3		4		12
女			8	6	3	11	1	29
計			13	9	3	15	1	41

④年間利用状況

（単位：人）

	元年度	30年度	増減	対前年度(比)
身体介護延べ人数	57,435	56,977	458	100.8
生活援助延べ人数	1,263	737	526	171.4
通所介護延べ人数	508	502	6	101.2

5 養寿荘訪問介護事業所

平成19年10月より訪問介護事業所の指定を受け、訪問介護サービスの提供を行った。

①サービス別利用状況

令和2年3月31日現在 (単位:人)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	40	38	38	38	38	39	39	38	37	37	39	39	460
要支援者													
計	40	38	38	38	38	39	39	38	37	37	39	39	460

②サービス別利用状況延べ人数

(単位:人)

区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	身体介護	4,553	4,850	4,974	4,882	4,824	4,779	4,785	4,592	4,773	4,897	4,616	4,910	57,435
	生活援助	111	118	114	117	93	88	92	91	105	110	107	117	1,263
要支援者	身体介護													
	生活援助													
計	身体介護	4,553	4,850	4,974	4,882	4,824	4,779	4,785	4,592	4,773	4,897	4,616	4,910	57,435
	生活援助	111	118	114	117	93	88	92	91	105	110	107	117	1,263

③介護度別利用状況

(単位:人)

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男			5	3		4		12
女			8	6	3	11	1	29
計			13	9	3	15	1	41

④年間利用状況

(単位:人)

	元年度	30年度	増減	対前年度(比)
身体介護延べ人数	57,435	56,977	458	100.8
生活援助延べ人数	1,263	737	526	171.4

6 デイサービスセンター（大川目地区・元気の泉・山根地区・宇部地区）

(1)大川目地区デイサービスセンター

・平成30年度から地域密着通所介護事業所へと移行し、サービス提供時間を6～7時間と7～8時間の混合型での営業として、利用者のサービス向上に努めた。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催して意見を頂き、サービス向上に努めた。

(2)元気の泉デイサービスセンター

・令和元年度から日曜日を休業日とし、サービス提供時間を7～8時間での営業として、従来から実施している重度の要介護者の受け入れを積極的に行った他、認知症加算を算定する等で利用者のサービス向上に努めた。

また、山根地区デイサービスセンターへ配食を継続し、事業団のスケールメリットを生かした運営を行った。

(3)山根地区デイサービスセンター

・サービス提供時間を6～7時間での営業として、元気の泉デイサービスセンターからの給食により利用者の状態にあった食事の提供を行い、利用者のサービス向上に努めた。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催して意見を頂き、サービス向上に努めた。

(4)宇部地区デイサービスセンター

・平成30年度から地域密着通所介護事業所へと移行し、サービス提供時間を6～7時間での営業として、新たに認知症加算を算定することで利用者のサービス向上に努めた。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催して意見を頂き、サービス向上に努めた。

(5)共通実施項目

①計画的な運営管理の維持と実施体制の充実

・送迎については、乗降時の見守り、支援による安全、安心な乗降と、送迎計画を毎月見直すこと等により、可能な限り利用者の希望に沿った送迎体制をとるように努めた。

また、送迎計画を基に安全な送迎の実施を行った。

・健康確認については、バイタルチェック（体温、血圧、脈拍等）を行うことで、適切な健康状態の把握と対応に努めた。また、体調不良者については、家族及び担当ケアマネジャー等と連携し、早期対応に努めた。

・入浴については、利用者及び家族の利用目的の一つが入浴希望となっていることから、利用者の状態に合わせた入浴の実施に努めた。

・食事については、栄養士及び調理員が連携し、利用者の身体状況に合わせ栄養、嗜好も考慮し、季節感のある食事の提供に努めた。

・感染症対策として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、感染の防止に努めた。また、インフルエンザ等流行時には文書にて利用者、家族に注意を呼び掛けた。

②通所介護計画等による適切なサービスの提供

・利用者ごとに担当者を決め、担当職員が中心となり個別のケアプランを作成した。このケアプランを基に担当ケアマネジャー等との連携を図り支援内容の充実に努めた。
・毎日のミーティングを実施して、利用者の情報を共有し、職種間のスムーズな連携に努めた。

③利用者及び家族等に対する支援体制の充実

・連絡帳の活用や送迎時等、家族との情報交換を実施することで、利用者の健康状態等の把握に努めた。

④開かれた施設づくりと、地域との連携強化

・開かれた施設づくりを目指して地域との連携強化に努め、元気の泉デイサービスセンターではボランティアの受け入れを行った。
・大川目地区デイサービスセンターでは、併設の養護老人ホーム養寿荘との交流の機会を持つことで地域との交流を図った。
・山根地区デイサービスセンター並びに宇部地区デイサービスセンターでは地域の文化祭への参加を行った。

(6)レク活動について

季節行事等を積極的に取り入れ実施した。

また、機能訓練としても位置付け、体操との整合性や運動性が図れるプログラムにより実施した。

(7)利用者の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。

(8)職員の資質向上について

外部研修等へ参加し、職員の資質向上を図った。

①外部研修会参加状況 11回

②内部研修会参加状況 9回

(9)デイサービスセンター間の連携

相談員会議を毎月1回実施し、各デイサービスセンター間の情報交換を行うことで、事業運営、業務の効率化を図った。

(10) 利用状況について

①月別利用状況（1日当たり利用人員）

令和2年3月31日現在（単位：人）

	元年度	30年度	増減	対前年度(比)
大川目地区デイサービスセンター	14.3 (2.0)	13.1 (1.9)	1.2	109.1
元気の泉デイサービスセンター	17.0	17.8	△0.8	95.5
山根地区デイサービスセンター	10.5	11.2	△0.7	93.8
宇部地区デイサービスセンター	15.0	15.0	0	100.0
計	56.8 (2.0)	57.1 (1.9)	△0.3	99.5

() 内は、養寿荘利用者

②年間利用状況（利用延べ人員）

（単位：人）

	元年度	30年度	増減	対前年度(比)
大川目地区デイサービスセンター	3,677 (508)	3,536 (502)	141	104.0
元気の泉デイサービスセンター	5,248	6,381	△1,133	82.2
山根地区デイサービスセンター	2,715	2,872	△157	94.5
宇部地区デイサービスセンター	4,601	4,609	△8	99.8
計	16,241 (508)	17,398 (502)	△1,157	93.3

() 内は、養寿荘利用者

7 元気の泉居宅介護支援事業所

利用者の委託を受け、心身の状況その置かれている環境等に応じて、利用者の意向に沿った居宅サービス計画を作成し、適切なサービスが提供されるようサービス事業者との連絡調整を図った。

(1) 業務内容について

- ①介護サービス及び介護予防サービス（介護予防・日常生活総合事業）のケアプラン作成をした。
- ②利用者及びサービス提供等に関する定期会議を開催した。
- ③24時間連絡受付及び相談対応体制の確保を図った。

(2) 職員の資質向上について

外部研修等へ参加し、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 35回
- ②内部研修会参加状況 2回

(3) 利用状況について

①月別・介護度別利用者数

(単位：人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
事業対象者	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	47
要支援1	6	6	6	6	5	7	6	6	6	5	4	4	67
要支援2	14	11	9	8	9	9	8	8	8	7	6	5	102
要介護1	60	60	63	62	63	60	59	61	63	61	65	64	741
要介護2	37	41	43	43	46	45	47	46	45	47	46	45	531
要介護3	23	24	23	28	27	29	28	25	26	23	25	26	307
要介護4	14	14	14	14	14	13	10	12	12	10	14	13	154
要介護5	6	6	6	6	6	6	7	7	9	10	9	10	88
計	164	166	168	171	174	172	169	169	173	167	173	171	2,037

※事業対象者は「介護予防・日常生活総合事業」の対象者。(平成28年10月より開始)

②年間利用状況(居宅介護支援事業所)

(単位：人)

	元年度	30年度	増減	対前年度(比)
利 用 延 べ 人 数	2,037	1,908	129	106.8

③利用者及びサービス提供等に関する定期会議の実施(事例検討を含む)

回数 32回(概ね週1回実施、介護支援専門員4名・施設長1名・主任事務員1名)

④24時間連絡受付及び相談対応件数(時間外・休日等) 72件

8 元気の泉（訪問入浴介護事業所・ヘルパーステーション）

訪問入浴介護計画に基づき、要介護者等の心身の特性を踏まえて、居宅等においてその有する能力に応じ自立した日常生活ができるよう、入浴の援助を行った。

また、障がい者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の置かれている環境に応じ、入浴の援助を行った。

(1) 職員の資質向上について

内部研修等を開催し、職員の資質向上を図った。

- ①内部研修会参加状況 2回
- ②外部研修会参加状況 1回
- ③定例会議 12回（毎月1回）

(2) 利用状況について

①月別利用実績（訪問入浴介護事業所） （単位：人）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	5	5	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	44
延人数	17	16	15	16	14	11	13	12	9	6	8	11	148

②年間利用状況（訪問入浴介護事業所） （単位：人）

	元年度	30年度	増減	対前年度(比)
利 用 延 べ 人 数	148	320	△172	46.25

③月別利用実績（ヘルパーステーション） （単位：人）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
延人数	7	6	7	8	8	7	8	8	6	6	7	9	87

④年間利用状況（ヘルパーステーション） （単位：人）

	元年度	30年度	増減	対前年度(比)
利 用 延 べ 人 数	87	83	4	104.8

9 事業所別稼働率

事業所名	定員	平均利用者数及び稼働率			
		29年度 実績	30年度 実績	元年度 目標	元年度 実績
特別養護老人ホーム ぎんたらす久慈	50名	49.6名 (99.2%)	49.2名 (98.4%)	49.7名 (99.4%)	48.3名 (96.6%)
ぎんたらす久慈 短期入所生活介護事業所	10名	10.0名 (100.0%)	10.5名 (105.0%)	10.0名 (100.0%)	10.0名 (99.8%)
養護老人ホーム養寿荘	50名	49.5名 (99.0%)	49.9名 (99.8%)	49.7名 (99.4%)	49.6名 (99.2%)
大川目地区 デイサービスセンター	18名	13.2名 (66.0%)	13.1名 (72.8%)	13.5名 (75.0%)	14.3名 (79.4%)
元気の泉 デイサービスセンター	25名	18.1名 (72.4%)	17.8名 (71.2%)	19.0名 (76.0%)	17.0名 (68.0%)
山根地区 デイサービスセンター	15名	10.9名 (72.7%)	11.2名 (74.7%)	11.5名 (76.7%)	10.5名 (70.0%)
宇部地区 デイサービスセンター	18名	16.5名 (82.5%)	15.0名 (83.3%)	15.5名 (86.1%)	15.0名 (83.3%)
元気の泉 居宅介護支援事業所	—	1,730件	1,908件	1,910件	2,037件
元気の泉 訪問介護事業所	—	659名	休止中	休止中	休止中
元気の泉 訪問入浴介護事業所	—	431名	320名	240名	148名
元気の泉 ヘルパーステーション	—	124名	83名	36名	87名

※入所施設（ぎんたらす久慈及び養寿荘）については、月の初日における在在所者数の平均値を掲載。

各デイサービスセンターについては1日当たりの利用者数を掲載。（ ）内は稼働率

居宅介護支援事業所については年間の延べ件数、訪問介護事業所・訪問入浴介護事業所・ヘルパーステーションについては年間の延べ利用者数を掲載。

元年度目標の欄は、予算作成時の利用者数及び件数を掲載。

ⁱ 通常規模型通所介護…1か月当たりの平均延べ利用者数が301人以上750人以下の通所介護事業所

ⁱⁱ 地域密着型通所介護…1日の利用定員が18人以下の通所介護事業所